



No.35 2012.7

news

BIZ 島田節子

400-0032 甲府市中央2-9-12

TEL/FAX 055-227-5927

biz@setuko.jp <http://www.setuko.jp>

## <これが新しいBIZです！>

と言ってみたい。徐々にではあるが進化、発展しつつはある。しかし、“これぞ！”と大きく胸を張れる代表作と言えるものが出てこない。月並みな言葉を借りれば“生みの苦しみ”ということか。が、そんなかつこ良いものではない。室内や庭をウロウロ雑草を抜いたり、ぐずぐず嘆いたり時には歓喜、そしてまた落ち込み・・・

他にある形や方法でなく、上品かつ個性的で女性が美しくなり楽しくなるものは？？？でも、呑気なことに能力の限界なんぞとっていないのが救われますね。早くお見せしたいです！



新緑のディスプレイ

## <この頃気になる言葉>

“孤独死” “心のケア”

“人が死ぬ時、それはうとうと夢見心地の状態である”と読んだことがある。(しかしこれは高齢でしかも延命治療をしない場合らしい)。孤独死、というこの言葉。一人で死ぬことがとても不幸で寂しいことのように感じさせ、余計に死への恐怖を煽る。それはそんなに不幸なことなのか。私自身は死ぬ間際に人に囲まれたりせず、ひとりで充分と思っているのだが。

“心のケア”も同じ。本当に辛い時は言葉にも出せない。“時の経過”が最大の薬。自分で悩み苦しんではじめて次が見える。過剰な想いやりは将来本人が蓄える力を摘み取ってしまうのかもしれない。

となると、“シマダは強い人間か”。とんでもありません。ことによると目の前のことを追いかけるだけで人より真剣に悩んでいないかも。そして悩まない一番の原因は、日頃食べて温かい風呂と布団にも恵まれ、更には時に私の仕事に喜んで下さる方もいる。これ以上何を望むのか。

この言葉、本来外的刺激の恐怖により日常生活も脅かされている人々のためと思う。

## <山梨を離れられない>

かつては“林の中に住みたい”と思っていた。諦めたのではないが住まなくても少し車を走らせれば素晴らしい自然の数々に出会える。

市内を運転中は季節と光で微妙に色が変わる周囲の山々が望める。富士山の神々しい姿は現れたり消えたり。いつもの散歩範囲を拓げて車で15分位走ると山の中の自然遊歩道の緑が瑞々しい。八ヶ岳、清里方面へは1時間半位。香るような青葉の中時折小川に出会う。水の音のなんと心地良いことか。

先日の台風一過の朝の雲は感動もの！夕方は淡い赤と黄金色をグレーの濃淡が包みその神々しさに息をのむ。

どんな美しさも自然の力強い感動がある。山梨は、まだ空気がきれいだから透明な輝く景色に出会えるのかもしれない。



## <今の今>

これはドイツ人のカット。若手で（といっても40歳台？）親世代の精密なカットをおもしろくない、と言う。アゲートの内側の“汐”と呼ばれる希少な部分がきらきら輝き優しく上品なペンダントトップ



イタリア人から買ったモダンな研磨の石を使って。日本人にはない発想。透明度の高い上質のアメジストをまるごとくり抜いてリングに。ペンダントにも使用可。

